

芦屋市打出<sub>芦屋</sub>共有山入山取締規則新旧対照表

改正案	現 行
<p>芦屋市打出<sub>芦屋</sub>共有山入山規則</p> <p><u>(趣旨)</u></p> <p>第1条 この規則は、芦屋市打出<sub>芦屋</sub>財産区の山林（以下「共有山」という。）への入山に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p><u>(禁止事項)</u></p> <p>第2条 共有山に入山する者は、次に掲げる行為はしてはならない。</p> <p>(1) <u>火災発生のおそれのある行為をすること。</u></p> <p>(2) <u>山林保護等のために設置する標識を移転させること。</u></p> <p>(3) <u>立竹若しくは立木を伐採し、若しくは損傷し、下草、落葉若しくは落枝を採取し、又は土石若しくは樹根の採掘、開墾その他の土地の形質を変更すること。</u></p> <p>(4) <u>立竹及び立木の植栽地に立ち入ること。</u></p>	<p>芦屋市打出<sub>芦屋</sub>共有山入山取締規則</p> <p>第1条 芦屋市芦屋字奥山打出<sub>芦屋</sub>共有山保護の為次の行為を禁ず。</p> <p>(2) <u>山林内に火気あるものを投棄し又は放火する事</u></p> <p>(1) <u>山林保護の為設けたる標識を移転汚損し又は毀壞する事</u></p> <p>(3) <u>岩石を採取する事</u></p> <p>(5) <u>樹木を根掘又は毀壞する事</u></p> <p>(6) <u>用材木を伐採する事。但し松樹は生木は勿論枯損木及び枝葉と雖も採取する事を許さず</u></p> <p>(4) <u>杉檜植栽地に立入る事</u></p> <p>第2条 <u>／打出／芦屋／両部落民に限り自家用に供する柴草、山土は市長の許可を得て採取することを得</u></p> <p>第3条 <u>伐木又は柴草、山土を採取すべき器具を携へ入山せんとするものは予め市長の許可を得必ず入山証を携帯すべし。</u></p> <p>第4条 <u>毎年秋期に於て副産物(茸、栗)を公売す。副産物の採取期間は毎年9月15日より11月15日迄とし該期間中は買受人の外入山を許さず。但し山林取締関係吏員は此の限りに在らず。</u></p>

改正案	現行
<p><u>(行為の許可)</u></p> <p><u>第3条 治山工事，立木竹の保護その他の理由により，前条第2号から4号までに掲げる行為を行おうとする者は，市長に申請し，許可を得なければならない。</u></p> <p><u>2 市長は，前項の規定による申請があったときは，許可の可否を決定し，許可したときは，許可書を交付するものとする。</u></p> <p><u>3 市長は，前項の許可に当たっては，芦屋市附属機関の設置に関する条例（平成18年芦屋市条例第5号）第2条に規定する芦屋市打出芦屋財産区共有財産管理委員会（以下「管理委員会」という。）の承認を得なければならない。ただし，やむを得ない事由により承認を得る時間的余裕がないときは，管理委員会委員長の意見を聴いた上，許可の可否を決定することができるものとする。</u></p> <p><u>4 市長は，前項ただし書の規定により第2項の許可をしたときは，当該許可後に開かれる管理委員会において，その旨報告するものとする。</u></p> <p><u>(補則)</u></p> <p><u>第4条 この規則に定めるもののほか必要な事項は，管理委員会の意見を聴き，別に市長が定める。</u></p>	<p><u>第5条 本規則に違背したるものは森林法及兵庫県警察犯処罰令に依り処分せらるべし。</u></p>